

## 二国間交流プログラムを通じ、パートナーシップを強化 *Strengthening partnerships through the Bilateral Exchange Program*

October 29, 2019

By Senior Airman Juan Torres  
374th Airlift Wing Public Affairs

航空自衛隊の自衛官が米空軍の空兵と共に働く体験をする「二国間交流プログラム」が10月17日から25日、横田基地で行われた。

同プログラムに、15人の自衛隊員が横田基地を訪れ、米空軍のカウンターパートと共に仕事をしながら相互理解を深め、関係強化の構築を図った。

隊員たちは、より良い手法を見出しながら互いに学び、また自国の文化を共有する機会を得た。

「二国間交流プログラムを通じて、米空軍と航空自衛隊のそれぞれの運用の仕方の違いを知ることができる。良い点も悪い点も沢山の気づきがあり、学んだことを自分の部隊で活かせるいい機会だ」と入間基地気象隊気象観測官ワタナベ・ユウジ2等空曹は述べた。

プログラムには、気象、飛行場管理、整備、憲兵、補給など、さまざまな部隊の隊員が参加した。

隊員たちは、パートナーとしての連携を強化しながら言葉の壁を乗り越え、共に業務に臨んだ。

「カウンターパートは皆親切で、励まし、積極的に話かけてくれた。語学力を心配するより、積極的に臨めば、このプログラムを存分に楽しめる。互いに多くのことが学び合える有意義な機会だ」とワタナベ2等空曹は述べた。



(U.S. Air Force Photos by Machiko Arita)